

交通案内

会場までの交通機関：

電車利用の場合

東京駅より JR 外房線「特急わかしお号」安房鴨川駅下車、徒歩約 7 分

高速バス利用の場合

東京駅八重洲口より「アクシー号」（東京～安房鴨川線）

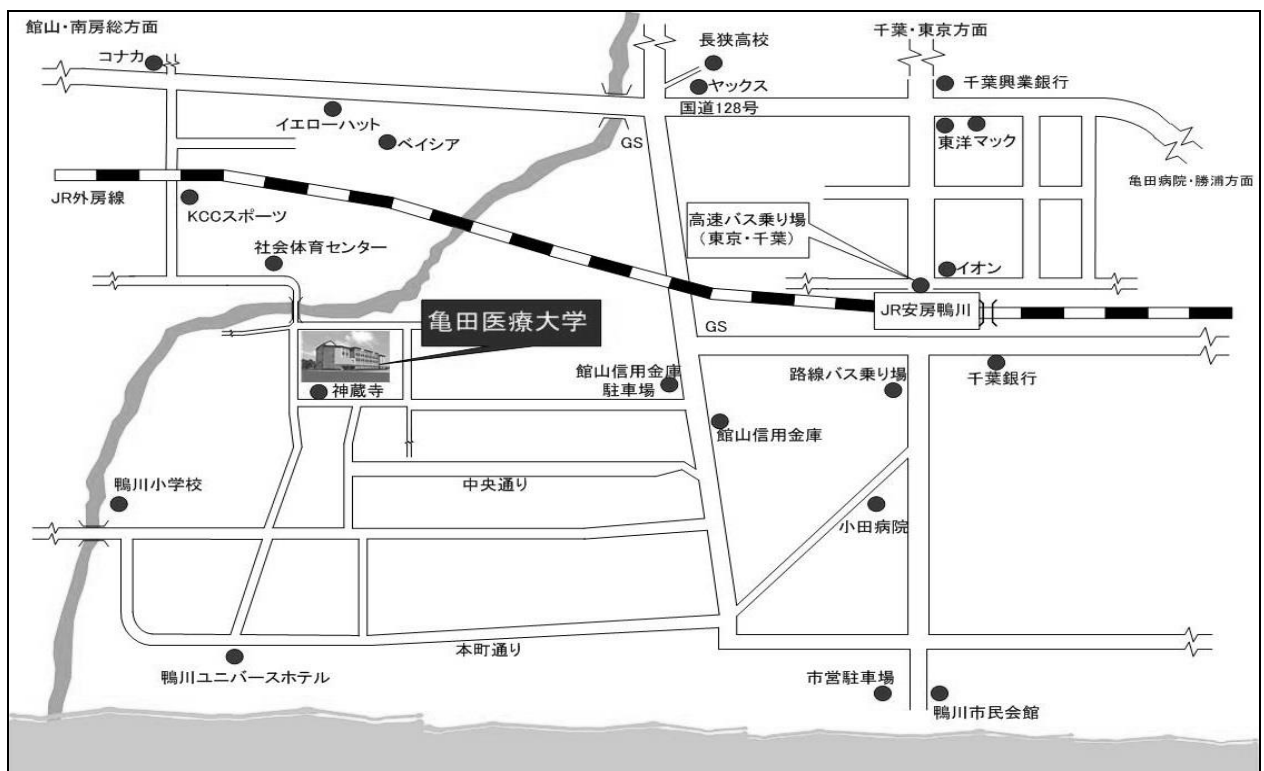
千葉駅より「カピーナ号」（千葉～安房鴨川線）

安房鴨川駅下車、徒歩約 7 分

タクシー利用の場合

鴨川タクシー TEL 0120-02-1216

きょうほタクシー TEL 0120-02-2351



会場案内

1. 校内

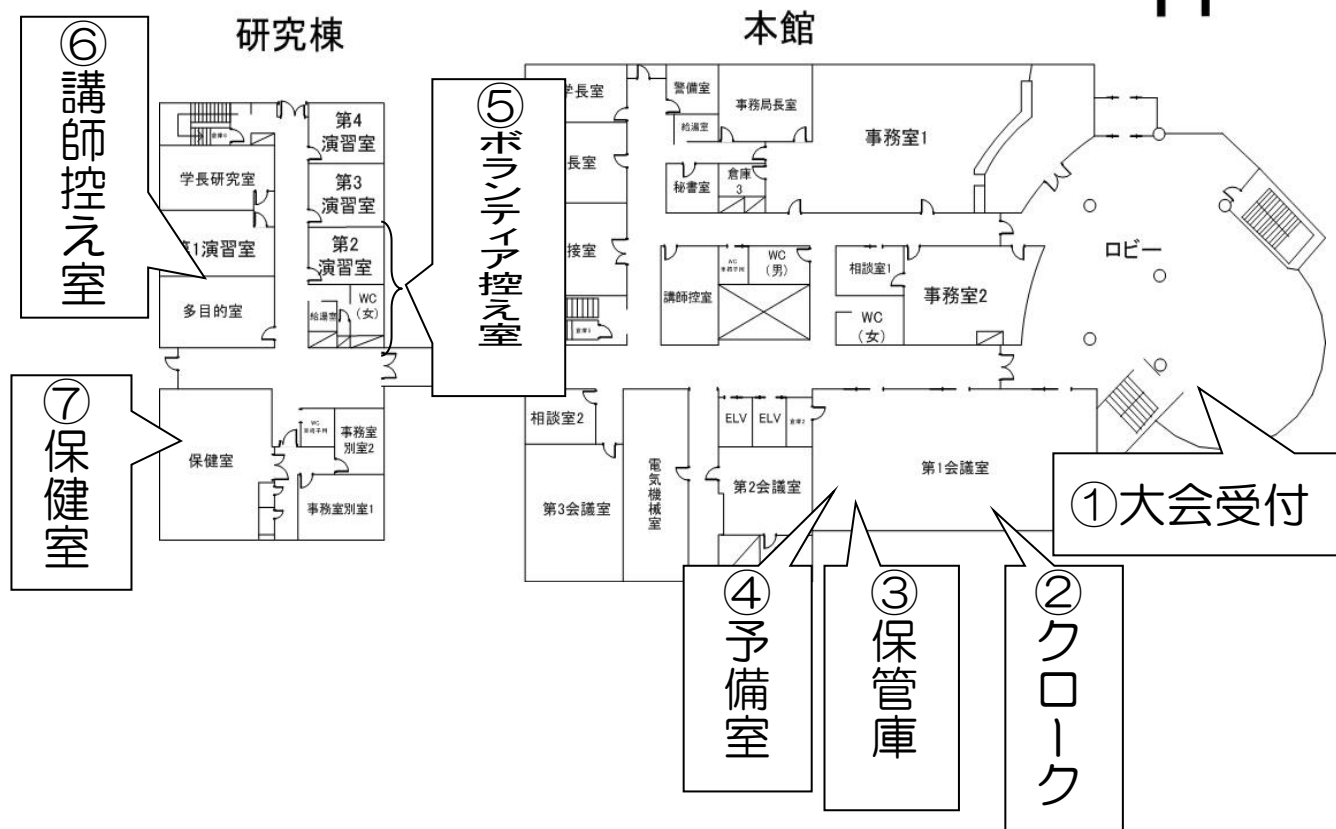
- 1F : ① 大会受付(本館1F ロビー)
- ② クローク(本館1F 第1会議室 A)
- ③ 保管庫(本館1F 第1会議室 B)
- ④ 予備室(本館1F 第1会議室 C)
- ⑤ ボランティア控え室(研究棟 1F 第2～4演習室)
- ⑥ 講師控え室(研究棟1F 第 1 演習室)
- ⑦ 保健室(研究棟1F 保健室)
- 3F : ⑧ 第1会場(本館3F 第1講義室)
- ⑨ 第2会場 (本館3F 第2講義室)
- 4F : ⑩ 第3会場 (本館4F 第3講義室)
- ⑪ ポスター会場(本館 4F 多目的室)
- ⑫ 事務局 (研究棟1F 多目的室)

2. 学生会館

- 1F : ⑬ 休憩室(学生会館 食堂)
- 3F : ⑭ 理事会会場(学生会館 多目的室 5)
- 4F : ⑮ メイン会場(ミズキホール)

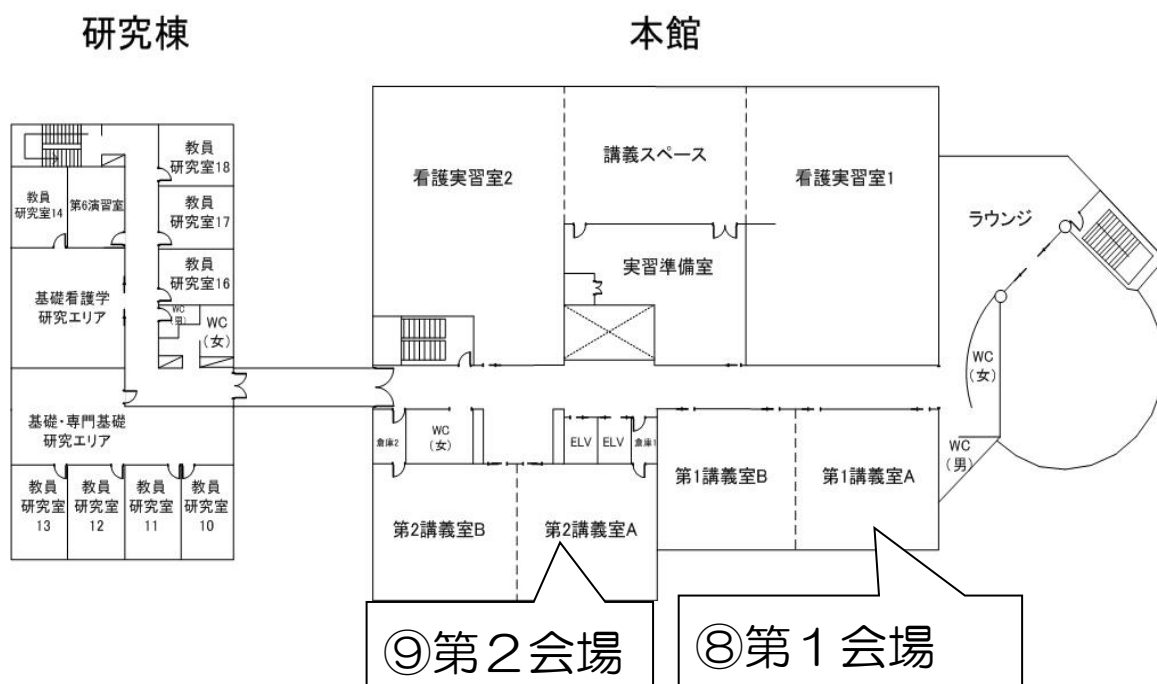
亀田医療大学 校内案内図

1F



亀田医療大学 校内案内図

3F

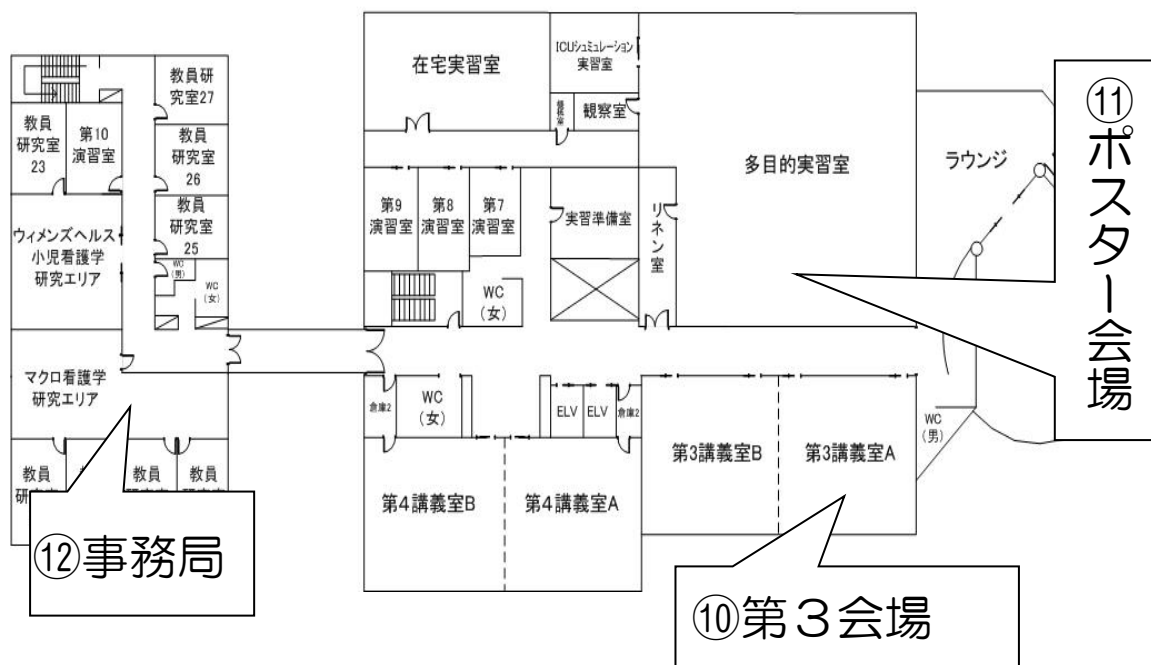


亀田医療大学 校内案内図

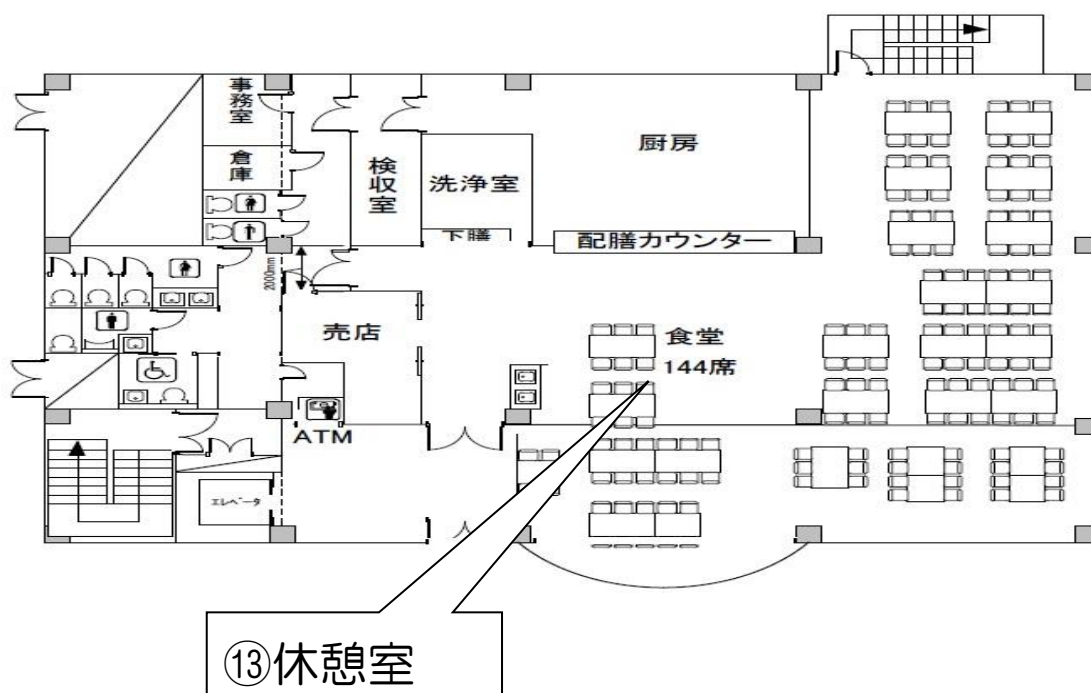
4F

研究棟

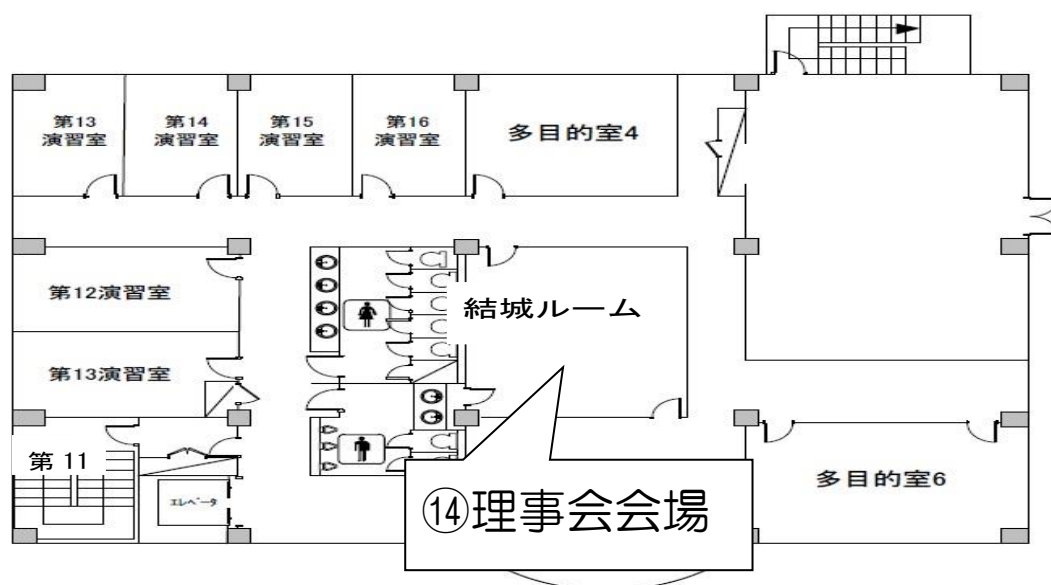
本館



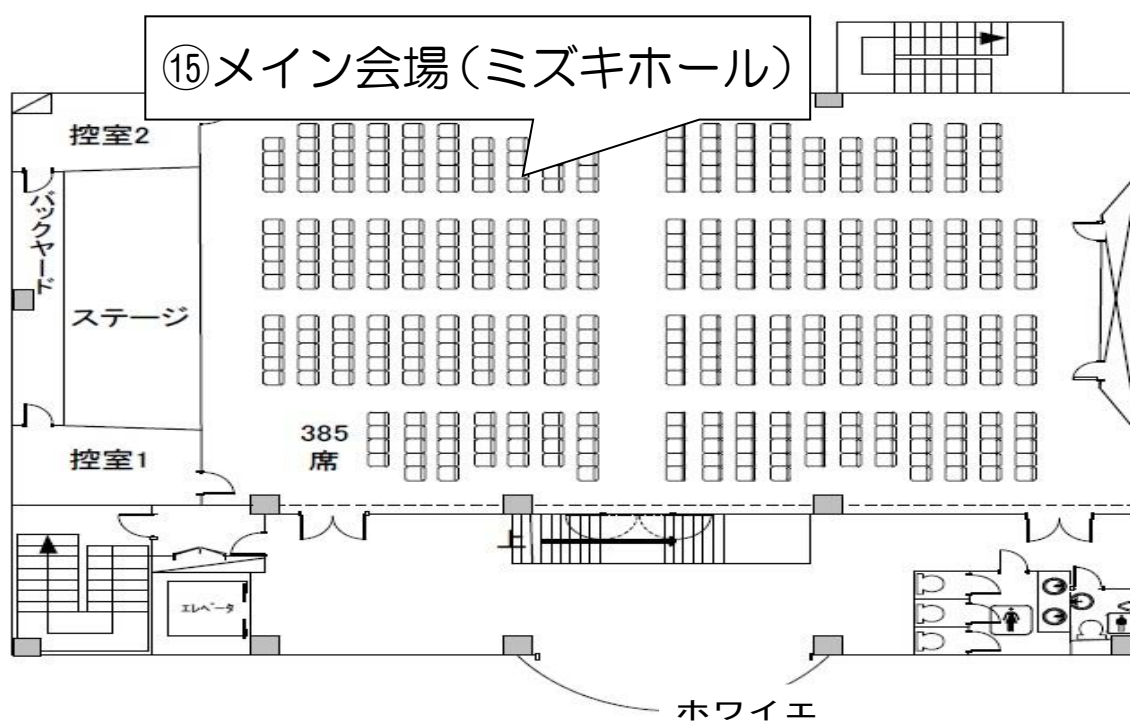
亀田医療大学 [学生会館] 案内図 1F



亀田医療大学 [学生会館] 案内図 3F



亀田医療大学 [学生会館] 案内図 4F



参加者へのお知らせ

1. 大会参加受付について

- 1) 受付の場所および時間帯は次の通りとなります。

受付場所：亀田医療大学本館 1 階ロビー

6 月 17 日（土）9:30～17:30

6 月 18 日（日）9:00～14:00

- 2) 受付の種類及び金額は次の通りです。

＜ 参 加 費 ＞

	会 員	非会員	大学院生	学部学生	非会員 一日コース
事前申込	5,000 円	6,000 円	4,000 円	3,000 円	3,000 円
当日申込	6,000 円	7,000 円	5,000 円	4,000 円	4,000 円

※学部学生は、当日学生証の提示をお願いしますので、ご持参ください。

＜ 懇親会費 ＞

会員・非会員 5,000 円

- 3) 受付時に配布させていただく名札に、氏名とご所属をご記入の上、会場内では常に着用をお願いします。

2. 体験学習ワークショップについて

6 月 17 日 15:30～17:30 に 3 つの体験学習ワークショップが開催されます。

体験学習ワークショップにご参加を希望される方は、どれか 1 つをお選びいただき、大会受付にて事前にお申し込みください。

- A) 「漢方医学にもとづいたセルフケア」 王 麗華（国際医療福祉大学）
（第 1 会場 第 1 講義室）
- B) パーキンソン病の方の暮らしやすい地域を目指して」
原田光子・鈴木裕子（亀田医療大学）（第 2 会場 第 2 講義室）
- C) 「当事者~~者~~研究を体験する」上岡陽江（ダルク女性ハウス）
（第 3 会場 第 3 講義室）

3. 昼食について

亀田医療大学本館は食事禁止とさせていただいております。

お弁当をご持参の方は学生会館の 1 F の学生食堂（亀ママキッチン）や、3 F の多目的室 4、6 をご利用ください。また、学生食堂（亀ママキッチン）が営業しておりますので、ふるってご利用ください。

撮影したデータは、本大会の記録として、報告などにさせていただくことがありますことを、事前にお断り申し上げます。なお、撮影を拒否される方は、その旨、スタッフにお申し出ください。

一般演題発表者へのお知らせ

1. 口頭発表者の方へ

●発表時間 15 分＋質疑応答 10 分

- ・ パワーポイントのみでの発表となります。会場では Windows パソコンをご用意いたします。
- ・ 発表いただくセッションの開始時間より 20 分前までにデータを会場内の発表用 PC のデスクトップ上へ登録してください。（6 月 18 日（日）の 9:30～10:30 までに発表される方は、6 月 17 日（土）もしくは 6 月 18 日（日）9:00～9:15 にスライドを登録してください。）
- ・ 各会場の後方に予備 PC がございますので、動作確認を行いたい場合はご利用ください。
- ・ 発表 10 分前までに各会場の次演者席付近へお越し下さい。
- ・ 外部ディスプレイコネクタ（ミニ Dsub15 ピン）付きノートパソコンをご持参の場合も、接続不能に備えてメモリーをご持参下さい。
- ・ ご用意いただいた印刷資料の配布（50 部程度）はご自由ですが、会場での印刷コピーはできません。

2. ポスター発表者の方へ

＜ポスターの展示（掲示）について＞

ポスターサイズ：~~110~~cm（横）×~~160~~cm（縦） 以内

- ・ 6 月 17 日（土）の 9:30～14:00 までに掲示し、6 月 18 日（日）11:10～12:00 の間に演者の方がご撤去ください。12 時以降撤去されていないものは、担当により破棄させていただきます。
- ・ 掲示用の押しピンは会場に準備しております。

＜ポスター前での発表について＞

発表時間 10 分＋質疑応答 5 分

- ・ 演者は当該セッションの開始 5 分前までに会場のポスター前にお越し下さい。
- ・ 6 月 18 日（日）の 9:30～11:10 のポスターセッションにて、10 分間発表していただくことになります。
- ・ ご用意いただいた印刷資料の配布（50 部程度）はご自由ですが、会場での印刷コピーはできません。

ポスターサイズの幅が90cmに収まらない場合は大会事務局にご相談ください。

3. 口頭発表・ポスター発表の座長の方へ

- ・ 担当していただくセッションの開始 30 分前までに、大会受付にお越し下さい。
- ・ 担当していただくセッション開始 5 分前までに会場にお越し下さい。
- ・ 演者 1 人当たりの持ち時間は、口頭発表 25 分（発表 15 分＋質疑 10 分）、ポスター発表 15 分（発表 10 分＋質疑 5 分）です。その他、進行方法等についてはお任せしますが、各セッションの時間内に収まるようにお願いします。演者が欠席の場合は、適宜発表を繰り上げて進行をお願いいたします。ご不明な点など、何かございましたら会場スタッフにお申し付け下さい。

日程表

6月17日(土)

時間	メイン会場 ミズキホール	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	ポスター 会場	理事会 会場	
9：30	大会受付（④にて）	発表者：各会場での P C 受付			ポ ス タ ー 展 示		
10：00	開会式						
10：05	【基調講演】 「セルフケアを支援する」 大会長：宮本眞巳 （亀田医療大学）						
11：05	司会：平山香代子						
11：10		一般演題 O1 座長：梓川 一 王 麗華	一般演題 O2 座長：山崎久美子 磯山 優	一般演題 O3 座長：安酸史子 中島洋一			
12：10							
13：15	総会						拡大理事会 顧問・評議 員会
14：00	【特別講演】 「立ちゝ治る”」 講師：井合茂夫 （亀田リハビリテーション 病院）						
15：20	司会：宮本眞巳						
15：30		【体験学習 ワークショップ A】 演者：王 麗華 （国際医療福祉大 学）	【体験学習 ワークショップ B】 演者：原田光子・ 鈴木裕子（亀田医 療大学）	【体験学習 ワークショップ C】 演者：上岡陽江 （ダルク女 性 ハウ ス）			
17：30							
18：00 20：00	懇親会						

日程表

6 月 18 日（日）

時間	メイン会場 ミズキホール	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	ポスター 会場	理事会 会場
9：00	大会受付（④にて）	発表者：各会場での P C 受付				
9：30		【一般演題 〇 4】 座長：中川 晶 原田光子	【一般演題 〇 5】 座長：加藤隆子 深井穫博	【一般演題 〇 6】 座長：松浦佳代 諏訪茂樹	【一 般 演 題 P 1～3】 座長： 豊田・吉岡・ 樋口・今野・ 鈴木・村松	
11：00						
11：30					ポスター撤去 (～12:00)	
						理事会 11：30～ 12：50
13：00	シンポジウム 「進化するセルフ케어 当事者と援助者の新た な連携へー」 シンポジスト： 松繁卓哉、安保寛明、 上岡陽江					
15：00	司会：宮本眞巳					
15：00 15：10	閉会式					

プログラム 6 月 17 日（土）

基調講演 10:05 ～ 11:05 メイン会場（ミズキホール）

大会長：宮本真巳（亀田医療大学）
『セルフケアを支援する』

司会：平山香代子（亀田医療大学）

特別講演 14:00 ～ 15:20 メイン会場（ミズキホール）

講師：井合茂夫（亀田リハビリテーション病院）
『立ち“治る”』

司会：宮本真巳（亀田医療大学）

体験学習ワークショップA 15:30 ～ 17:30 第1会場（第1講義室）

『漢方医学にもとづいたセルフケア』
演者：王 麗華（国際医療福祉大学）

体験学習ワークショップB 15:30 ～ 17:30 第2会場（第2講義室）

『パーキンソン病の方の暮らしやすい地域を目指して』
演者：原田光子・鈴木裕子（亀田医療大学）

体験学習ワークショップC 15:30 ～ 17:30 第3会場（第3講義室）

『当事者研究を体験する』
演者：上岡陽江（ダルク女性ハウス）

プログラム 6月18日（日）

シンポジウム	13：00 ～ 15：00	メイン会場（ミズキホール）
--------	---------------	---------------

座長：宮本真巳（亀田医療大学）

『進化するセルフケア—当事者と援助者の新たな連携へ—』

シンポジスト：安保寛明（山形県立保健医療大学）

松繁卓哉（国立保健医療科学院）

上岡陽江（ダルク女性ハウス）

一般演題一覧 口頭発表： 6月17日（土）

11：10～12：10 各会場

セッション01 食育の行動科学

第1会場

座長：梓川 一（奈良佐保短期大学） 王 麗華（国際医療福祉大学）

O1-1 妊娠および育児中の母親への子育て支援

—子育て支援講習会への参加による気づきと効果の検討—

○橋本佐由理（筑波大学）、樋口倫子（明海大学）

O1-2 人の食嗜好の形成に関する文献検討—生育環境における養育者の影響に着目して—

○鈴木花菜子（筑波大学社会人大学院）、橋本佐由理（筑波大学体育系）

セッション02 社会参加と行動科学

第2会場

座長：山崎久美子（防衛医科大学校） 磯山 優（帝京大学）

O2-1 企業に勤務する労働者のワーク・エンゲイジメントとソーシャル・サポートの関連

—性別および職種別の比較—

○中村眞弓（株式会社ツムラ）、橋本佐由理（筑波大学）

O2-2 社会福祉法人みきの会セサミが捉えている精神障害者への支援の課題

—ソーシャルワークグローバル定義と障害者差別解消法を踏まえて—

○増山道康（社会福祉法人みきの会理事）

セッション03 看護における情報交流と行動科学

第3会場

座長：安酸史子（防衛医科大学校） 中島洋一（亀田医療大学）

O3-1 「公衆衛生」における合理性の相対化

—メンタルヘルスにかかわる当事者活動から—

○杉本洋（新潟医療福祉大学）、佐藤純子（新潟医療福祉大学）

O3-2 看護学生の実習経験と社会化—「異和感の対自化」の実施を通して—

○堀川英起（東京慈恵会医科大学医学部看護学科）

一般演題一覧 口頭発表： 6 月 18 日（日）

セッション 04 ナラティブと臨床工学の行動科学

第 1 会場

<9:30~11:30>

座長：中川 晶（奈良学園大学） 原田光子（亀田医療大学）

O4-1 透析患者の自己血管使用皮下動静脈瘻の心拍動に伴う陥凹現象に関する文献研究

○大滝徹（医療生活協同組合やまがた鶴岡協立病院）、
岡美智代（群馬大学大学院保健学研究科）

O4-2 臨床工学技士への超音波診断装置の教育に関する文献研究

○海澤克太（埼玉医療生活協同組合皆野病院）、
岡美智代（群馬大学大学院保健学研究科）、
大滝徹（医療生活協同組合やまがた鶴岡協立病院）

O4-3 糖尿病患者が「聞き書き」を受けることによる思いについて

—食事及び運動療法に焦点を当てて—

○反町千恵（群馬大学医学部附属病院）
井手段幸樹、岡美智代、屋敷有沙（群馬大学医学部附属病院）

O4-4 病棟看護師の勤務交代時におけるベッドサイド申し送りに関する文献研究

—邦文・英文文献との比較—

○屋敷有沙（群馬大学医学部附属病院）、岡美智代（群馬大学大学院保健学研究科）
井手段幸樹（群馬大学大学院保健学研究科）、反町千恵（群馬大学医学部附属病院）

一般演題一覧 口頭発表： 6 月 18 日（日）

セッション 05 生と死を支える行動科学

第 2 会場

<9:30~11:00>

座長：深井穫博（深井歯科医院） 加藤隆子（千葉県立保健医療大学）

O5-1 Suffering と対峙する医師の支援の可能性について

ー医師によるセルフケアを超えてー

○鷹田佳典（早稲田大学）

O5-2 医療機関における臨床宗教師は何をめざすのか

ー役割期待と成立過程からの一考察ー

○福永憲子（大阪府立大学大学院人間社会学研究科博士後期）、

村岡潔（佛教大学社会福祉学部）

O5-3 安楽死と尊厳死ー日本とオランダの比較考察ー

○瀬尾幸子（秀和総合病院）

セッション 06 生活しやすい社会を作る行動科学

第 3 会場

<9:30~11:00>

座長：諏訪茂樹（東京女子医科大学） 松浦佳代（看護教育大学校）

国立看護大学校

O6-1 片親疎外（PA）の紹介と生成の心理的機序について

ー心理学理論と脳科学知見からー

○山口豊（東京情報大学）、窪田辰政（静岡県立大学）

O6-2 LLブック「ぼくの家は かえで荘」作製の取り組み

ーソーシャルインクルージョンの社会をめざしてー

○小林美津江（佛教大学社会福祉学研究科）

O6-3 奈良県難病ピアカウンセリング事業の立ち上げにみる社会的意義

ー難病仲間の支えあいから社会的な共生の動きへー

○梓川一（奈良佐保短期大学）、萬谷和広（大阪南医療センター）

一般演題一覧 ポスター発表： 6 月 18 日（日）

9：30～11：00 ポスター会場 各ブース

セッション P1 地域作りと自己確立

座長：豊田久美子（京都看護大学） 今野玲子（三育学院大学）

P1-1 看護職によるまちづくり『青空カフェ』の実践

ー相談機能を備えたホームホスピスにおける人とつながる語りの場ー

○川名延江（NPO 法人フローラファミリー）

P1-2 安房地域のセルフケア力に繋がるカフェ活動

ー南房総市「おたがい茶間」鴨川市「青空カフェ」館山市「つむぎ」ー

○鈴木裕子、原田光子（亀田医療大学）、平尾由美子（千葉県立保健医療大学）

P1-3 安房地域のプライマリヘルスケア活動

ークリニックにおけるセルフケア支援について地域看護の視点からー

○栗原美由紀、大沼洋子（亀田クリニック）、鈴木裕子、原田光子（亀田医療大学）

P1-4 孤独死防止へ向けた高齢者の心理特性に関する研究

ー見守り相談員からみた見守り支援利用者のポジティブな特性ー

○山崎久美子（防衛医科大学校）、逸見功（日本赤十字看護大学）

P1-5 難病患者会への専門職の支援についての文献レビュー

○降旗幹子、桑野美夏子、王麗華（国際医療福祉大学）

P1-6 我が国における地域包括ケアに関する文献検討

ー看護の視点からー

○星山真理子、佐藤禮子（東京通信大学設立準備室）

一般演題一覧 ポスター発表： 6 月 18 日（日）

9：30～11：00 ポスター会場 各ブース

セッション P2 ヘルスプロモーションの行動科学

座長：吉岡隆之（奈良学園大学） 鈴木秀樹（東北文化学園大学）

- P2-1 中学生メディカルチェックにおける運動部顧問教諭のスポーツ障害に対する関心について
○染谷友香、東拓哉（医療法人鉄蕉会 亀田クリニック）
- P2-2 運動支援・SNS モバイルアプリケーションとピアサポートが大学生の運動量に及ぼす影響
○杉浦雄策、樋口倫子、星野伸明（明海大学）
- P2-3 看護系大学教育におけるセルフケアに関する教育について—国内文献からの検討—
○奥平寛奈、王麗華（国際医療福祉大学）、村松由紀（大東文化大学）
- P2-4 「当事者参加型授業」の作業療法学生への教育効果
—精神障害を抱える当事者を招いてのグループ学習効果—
○白井雅子（藍野大学）
- P2-5 リハビリテーションの起源に遡ることで総合リハビリテーション看護学を構築する
—看護学の専門性と生活の再構築—
○柳澤久幸（学校法人鉄蕉館 亀田医療大学看護学部看護学科）
- P2-6 国内の看護学領域における統合医療に関する文献レビュー
—患者を対象とした研究の効果・検証に焦点をあてて—
○高濱圭子、美濃由紀子、田上美千代
（東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 精神保健看護学）

一般演題一覧 ポスター発表： 6 月 18 日（日）

9：30～11：00 ポスター会場 各ブース

セッション P3 セルフケアとセルフケア支援の行動科学

座長：樋口倫子（明海大学） 村松由紀（大東文化大学）

P3-1 大学生の Well-being と自己マスタリー その 1

ー自己マスタリー尺度開発の予備的研究ー

○樋口倫子、杉浦雄策、星野伸明（明海大学）、橋本佐由理（筑波大学）

P3-2 大学生の Well-being と自己マスタリー その 2

ー自己イメージ法を活用した自己マスタリートレーニングの効果ー

○星野伸明（明海大学保健管理センター）、杉浦雄策（明海大学不動産学部）

樋口倫子（明海大学外国語学部）、橋本佐由理（筑波大学大学院）

P3-3 男性家族介護者の在宅支援サービス利用の有無を決意する要因

ー訪問看護サービスの利用者のインタビューよりー

○平川美和子（弘前医療福祉大学）、工藤雄行（弘前医療福祉大学短期大学部）、

高裕子（複十字病院）、岡田康平（弘前医療福祉大学）

P3-4 糖尿病をもつ療養者のセルフケアに関する文献検討

ー訪問看護師の役割に焦点をあててー

○桑野美夏子、降旗幹子、王麗華（国際医療福祉大学）

P3-5 日本におけるセクシュアルマイノリティのウェルビーイングに関する研究

ーLGBT 内における多様性に着目してー

○中村洸太（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学）

P3-6 高齢者を対象とする調査研究の評価について

ー介護老人福祉施設でアクティビティケアとして遠隔フィットネスシステムを用いる研究からー

○吉村雅世、田中和奈、守本とも子、東中須恵子（奈良学園大学）

吉村昌子（大和ハウス工業株式会社）